

南海トラフ巨大地震 30年以内発生確率「80%程度」に引き上げ

2025年1月15日、政府の地震調査委員会は南海トラフの巨大地震が今後30年以内に起きる確率について、これまでの「70%から80%」を「80%程度」に引き上げたことを公表しました。1月13日に発生した日向灘の地震は影響しておらず、1月1日時点で改めて算出した結果との事です。

30年以内に発生する確率については、南海トラフとして確率の算出を始めた2013年は「60%から70%」で、その後、2014年に「70%程度」、2018年に「70%から80%」と引き上げられ、今回「80%程度」へと7年振りに引き上げられました。

発生確率は引き上げられましたが、『すごく危なくなった』ということではなく、地震の予測に不確定性がある中での「1つの数字」として捉えた方が良いでしょう。ただし、いつ地震が起きても不思議はないことは確かです。過去に繰り返し起きている南海トラフ巨大地震が時間の経過とともに次の地震の発生日に近づいているのは間違いありません。次の地震に対し、引き続き“備え”を強化しておきましょう。

〈防災士 荻野 勝也〉

年代	南海トラフの過去の地震
684年	白鳳(天武)地震
887年	仁和地震
1096年 1099年	永長東海地震 康和南海地震
1361年	正平(康安)東海地震 正平(康安)南海地震
1498年	明応地震
1605年	慶長地震
1707年	宝永地震
1854年	安政東海地震 安政南海地震
1944年 1946年	昭和東南海地震 昭和南海地震

出典：地震調査研究推進本部